

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	H23_1-2	選択科目	科目
答案使用枚数	1 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	.	建	設	汚	泥	の	再	生	利	用	時	の	各	段	階	に	お	け	る	留	意	点		
1)	処	理	時	の	留	意	点																
①	処	理	施	設	の	適	切	な	選	択	:	処	理	対	象	と	な	る	建	設	汚	泥	の	
性	状	、	量	、	工	期	、	処	理	ヤ	ー	ド	、	要	求	品	質	を	考	慮	し	、	適	
切	な	処	理	施	設	を	選	択	す	る	。													
②	環	境	安	全	性	の	確	認	:	処	理	に	使	用	す	る	固	化	剤	お	よ	び	処	
理	土	の	環	境	安	全	性	を	確	認	す	る	。											
③	汚	泥	発	生	地	の	調	査	:	建	設	汚	泥	発	生	地	に	土	壌	汚	染	等	の	
不	安	が	あ	る	場	合	は	、	土	壌	環	境	基	準	に	よ	り	調	査	を	行	う	。	
2)	運	搬	、	貯	蔵	(仮	置)	時	の	留	意	点									
①	処	理	土	性	状	の	確	保	:	運	搬	を	行	う	場	合	は	、	処	理	土	の	性	
状	を	第	4	種	処	理	土	以	上	の	品	質	に	改	質	し	性	状	を	確	保	す	る	
②	運	搬	時	の	周	辺	環	境	保	全	:	汚	泥	運	搬	中	に	落	下	飛	散	に	よ	
り	周	辺	の	生	活	環	境	に	悪	影	響	を	及	ぼ	さ	な	い	よ	う	配	慮	す	る	
③	仮	置	時	の	品	質	保	持	と	周	辺	環	境	保	全	:	仮	置	中	は	処	理	土	
の	品	質	が	低	下	し	な	い	よ	う	対	策	を	講	じ	る	と	共	に	、	周	辺	環	
境	に	悪	影	響	を	及	ぼ	さ	な	い	よ	う	配	慮	す	る	。							
3)	処	理	土	利	用	時	の	留	意	点													
①	環	境	基	準	及	び	要	求	品	質	の	確	認	:	処	理	土	が	生	活	環	境	保	
全	上	の	基	準	を	満	た	し	た	上	で	、	利	用	用	途	毎	に	規	定	さ	れ	た	
要	求	品	質	に	適	合	し	て	い	る	こ	と	を	発	注	者	が	確	認	す	る	。		
②	土	構	造	物	と	し	て	の	設	計	施	工	上	の	配	慮	:	流	出	や	崩	壊	の	
お	そ	れ	が	な	い	よ	う	、	一	般	的	な	土	構	造	物	と	同	様	の	設	計	施	
工	上	の	配	慮	を	行	う	。	盛	土	・	埋	戻	の	施	工	で	は	利	用	用	途	に	
定	め	ら	れ	た	基	準	に	よ	り	転	圧	等	の	施	工	管	理	を	行	う	。			

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	H23_1-2	選択科目	科目
答案使用枚数	2 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

③	施工前・中・後の生活環境影響調査と保全：事前に 周辺環境調査を行い、必要に応じ環境対策を講じる。 施工中は周辺環境の調査を実施し影響確認と対策を行 う。施工後もモニタリングを行う。
④	排水による周辺水域等への影響の確認：施工前には 水質観測を行い、施工中・施工後に水質への影響を調 査確認する。工事区域からの排水には公共用水域への 影響が生じないよう処置を施す。石灰・セメント系改 質土はPHが高くなることがあるので、流出水が直接公 共用水域に流入しないよう配慮を行う。
2.	建設汚泥の発生抑制に関し、留意工夫すべき点 建設汚泥が発生する建設工事には、基礎工事および シールド工事がある。設計時・施工計画時から汚泥発 生抑制への留意を行うと共に、発生した汚泥を積極的 に利用するためには、改良汚泥品質の確保と汚泥利用 の設計書への明示を行うなどの工夫が必要となる。
1)	設計施工時に留意すべき点 ① 再生利用ガイドラインの十分な理解と実行：建設汚 泥処理土利用技術基準および建設汚泥の再生利用に関 するガイドラインを十分に理解し、それに則った再生 利用を実行する。
②	工法及び施工手順の検討：泥土圧、泥水圧、安定液 を必要とする工法の採用を控える。建設汚泥が発生す る工法を採用せざるをえない場合でも、現地調査と施 工手順の検討を十分にを行い、発生量の縮減に努めると

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24字×25字

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	部門
問題番号	H23_1-2	選択科目	科目
答案使用枚数	3 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

共	に	、	新	技	術	・	新	工	法	の	採	用	を	積	極	的	に	行	い	、	構	造	物	
断	面	の	縮	小	に	よ	る	建	設	汚	泥	発	生	量	の	抑	制	に	努	め	る	。		
③	建	設	汚	泥	再	利	用	の	設	計	時	か	ら	の	検	討	：	建	設	汚	泥	の	改	
良	に	よ	る	現	場	内	利	用	や	、	他	工	事	で	の	利	用	を	設	計	段	階	か	
ら	検	討	す	る	。	掘	削	土	混	じ	り	建	設	汚	泥	が	発	生	す	る	場	合	は	、
良	質	土	と	汚	泥	と	を	分	級	し	た	上	で	再	利	用	を	検	討	す	る	。		
2)	創	意	工	夫	す	べ	き	点															
①	建	設	汚	泥	品	質	の	明	確	化	：	建	設	汚	泥	の	受	入	先	で	の	受	入	
品	質	を	明	確	に	す	る	と	共	に	、	排	出	側	に	お	い	て	受	入	側	の	要	
求	性	能	を	満	た	す	品	質	へ	の	確	実	な	改	良	と	品	質	の	担	保	が	必	
要	で	あ	る	。																				
②	発	注	者	が	主	体	と	な	っ	た	需	要	先	の	確	保	：	利	用	促	進	の	た	
め	に	は	、	発	注	者	が	主	体	と	な	っ	た	積	極	的	な	需	要	先	確	保	が	
必	要	で	あ	る	。	発	注	者	が	建	設	汚	泥	処	理	土	利	用	と	工	事	間	利	
用	を	明	示	し	、	有	効	利	用	を	受	注	者	任	せ	と	せ	ず	必	要	な	費	用	
の	計	上	を	行	う	等	積	極	的	な	対	応	を	実	施	す	る	。						
③	工	事	間	利	用	の	促	進	：	仕	様	書	に	建	設	汚	泥	の	工	事	間	利	用	
を	明	示	す	る	と	共	に	、	搬	出	距	離	50	km	以	内	で	の	再	資	源	化	利	
用	と	工	事	間	利	用	を	促	進	す	る	。	建	設	発	生	土	情	報	交	換	シ	ス	
テ	ム	へ	の	登	録	と	利	用	を	積	極	的	に	実	施	す	る	。						
3	・	終	わ	り	に																			
	建	設	汚	泥	の	発	生	量	に	対	す	る	再	資	源	化	率	は	、	特	定	建	設	
資	材	廃	棄	物	や	建	設	発	生	土	に	比	べ	て	ま	だ	低	い	の	が	現	状	で	
あ	る	。	よ	り	一	層	の	発	生	抑	制	と	再	資	源	化	に	向	け	た	積	極	的	
な	取	組	が	必	要	で	あ	る	。														以	
																							上	

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字